

## 令和4年度有機フッ素化合物環境中実態調査結果(夏季)について

### 1. 概要

- (1)平成 28 年度に水道水源を除く県内の主要河川や地下水で全県的な PFOS 等調査を実施し、平成 29 年度からは高濃度の PFOS 等が検出された米軍基地周辺で有機フッ素化合物の調査を毎年、夏季、冬季の2回行っている。
- (2)令和4年度夏季は、46 地点で調査を実施(資料1)。  
[採水日:令和4年7月～令和4年9月]
- (3)各米軍基地周辺の調査地点数と、環境省が定めた暫定指針値(50ng/L)を超過した地点数は以下の表のとおり。
- (4)全調査地点中の最大濃度は、嘉手納町の屋良ヒージャーガーの 2,100ng/L。

#### <調査地点数 及び 暫定指針値超過地点数>

地域	指針値超過／調査地点	合計
普天間飛行場周辺	11／20	32／46
キャンプ瑞慶覧周辺	1／1	
嘉手納飛行場周辺	12／13	
キャンプマクトリアス周辺	6／8	
キャンプハンセン周辺	2／4	

### 1. 今後の対応等

- (1)令和4年度の冬季調査を実施するとともに、超過地点については、環境省が作成した手引きに基づき、飲用に供しないよう、関係市町村や地元自治会を通じて周知していく。
- (2)普天間飛行場や嘉手納飛行場周辺は基地からの影響である蓋然性が高いことから、引き続き国や米軍に対して、立入調査や国による原因究明等を求めていく。
- (3)普天間飛行場に関しては、令和3年度に専門家会議を設置し、同飛行場周辺における湧水等の汚染源特定に向けた調査・検討を開始しており、検討内容等を取りまとめの上、環境保全課 HP 等を通じて周知していく。